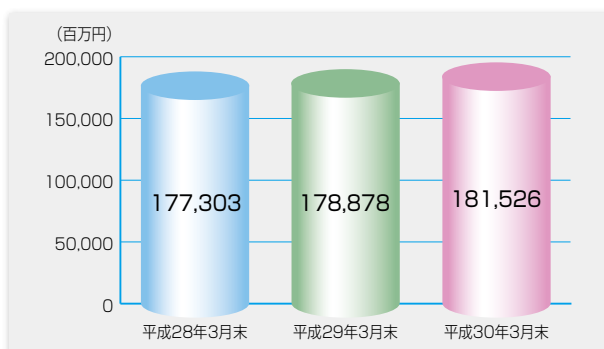


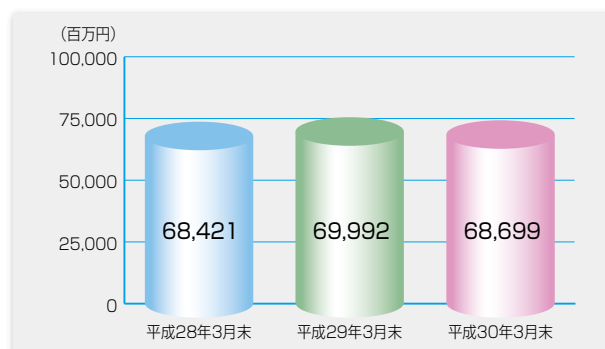
業績ハイライト

■預金積金



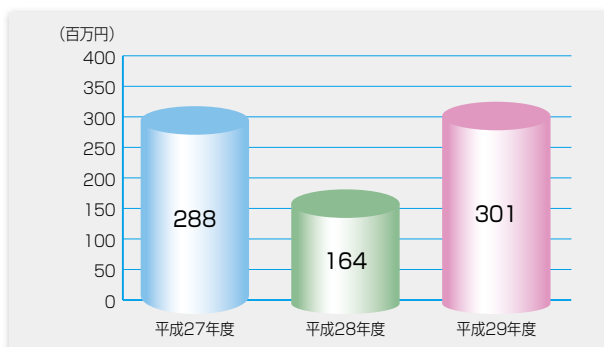
預金積金は前期比 2,648百万円増加の 181,526 百万円となりました。

■貸出金



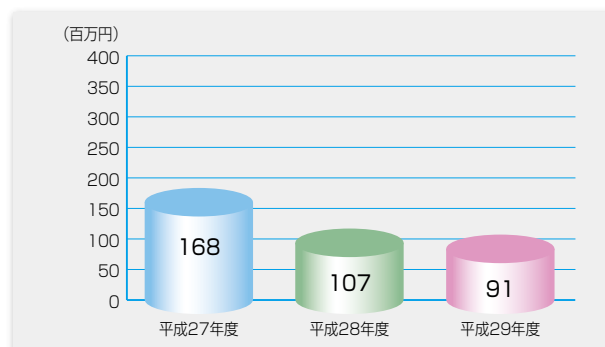
貸出金は前期比 1,293百万円減少の68,699百万円となりました。

■業務純益



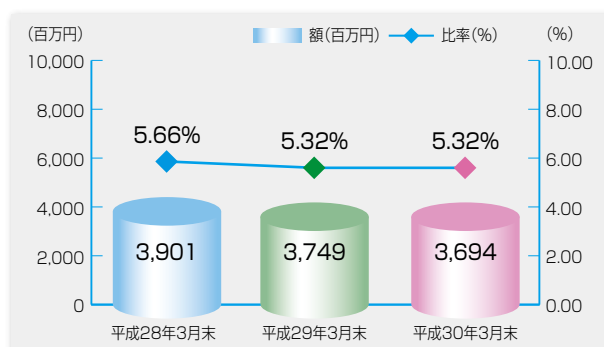
利回り低下の影響で貸出金・預け金等の利息収入が減少しましたが、有価証券売却益等により業務収益は前期比 94百万円増加。経費削減効果で業務費用が前期比 42百万円減少したことで、業務純益は前期比 136百万円増加の 301百万円となりました。

■当期純利益



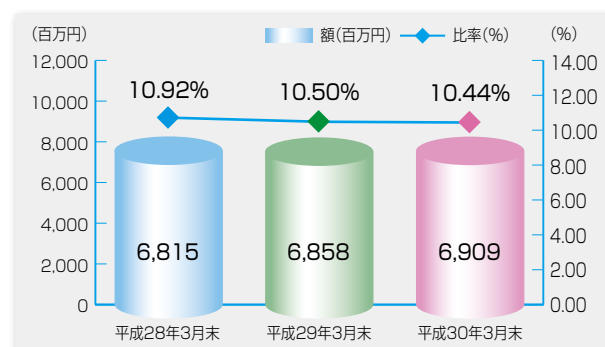
経常利益は前期比 87百万円減少の 218百万円。当期純利益は前期比 15百万円減少の 91百万円となりました。

■不良債権額と不良債権比率



貸出金償却等、不良債権処理を進めるほか、事業再生等の支援を実施しています。不良債権額は前期比 54百万円減少の 3,694百万円となり、不良債権比率は 5.32%となりました。

■自己資本額と自己資本比率



内部留保の積み上げを行い自己資本の充実を図っていますが、リスクウェイトの高い有価証券残高の増加により、自己資本比率規制（バーゼルⅢ）に基づく自己資本比率は前期比 0.06ポイント低下し、10.44%となりました。



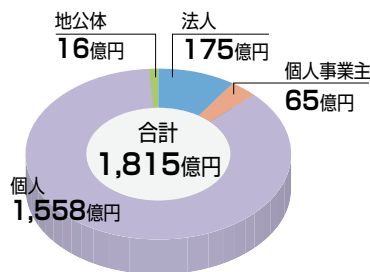
ご預金とご融資

お客様のご預金について

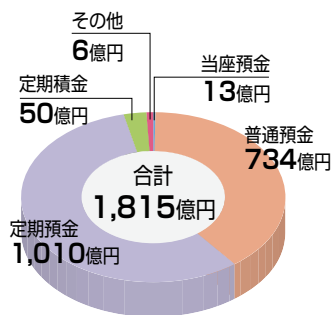
預金につきましては、きめ細やかな営業活動により取引基盤の拡大に努めました。その結果、預金は期中26億円増加し、期末残高は1,815億円となりました。

お客様の大切な資金を安全に、確実に、気軽に運用いただけるように、また、目的や期間に応じて選択していただけますよう各種預金を取り揃えています。

■預金残高構成(人格別)



■預金残高構成(科目別)



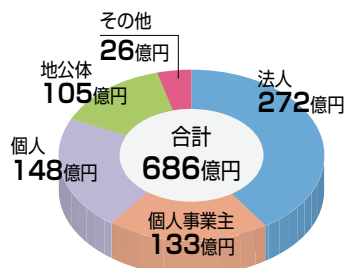
地域のお客様へのご融資について

地域のお客様からお預かりした大切な預金は、地域の中小企業や事業主の皆さまの事業資金、個人の皆さまの住宅資金や教育資金などにご利用いただいています。

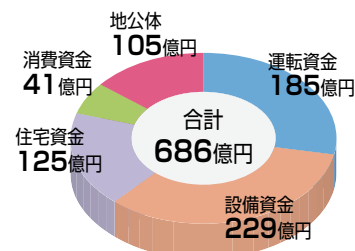
当金庫は、地域経済の発展と地域社会の活性化に寄与するため、多数者利用の原則に基づいた融資を心掛けています。

貸出金につきましては、個人向けの消費者ローン（住宅ローン等）および中小企業向け貸出金の拡充に努めましたが、貸出金は期中12億円減少し、期末残高は686億円となりました。預金積金に対する貸出金の割合は37.84%となっています。

■貸出金残高構成(人格別)



■貸出金残高構成(資金使途別)



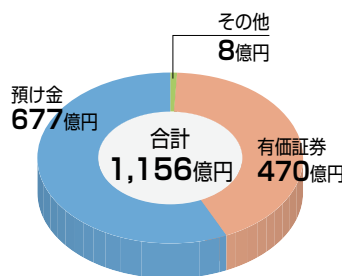
ご融資以外の運用について

当金庫は、ご融資以外の余裕資金について、安全性と健全性を考慮して運用しています。

余裕資金につきましては、信金中央金庫への預け金や有価証券などで運用いたしました。

平成30年3月末の余裕資金運用残高は1,156億円となり、うち、有価証券残高は470億円となっています。

■貸出金以外の運用の残高構成



■有価証券の残高構成

